

平成30事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

平成30年度決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,157	10,388	△769	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	288	301	13	(注2)
うち補正予算による追加	—	10	10	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	68	463	395	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設 費交付金	34	34	—	
自己収入	22,833	24,949	2,116	
授業料、入学金及び検定料収入	4,121	4,105	△16	
附属病院収入	18,444	20,506	2,062	(注4)
財産処分収入	19	—	△19	(注5)
雑収入	249	338	89	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金 収入等	1,768	1,702	△66	(注7)
引当金取崩	183	164	△19	(注8)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,090	590	△500	
出資金	—	—	—	
計	37,421	38,591	1,170	
支出				
業務費	34,670	32,920	△1,750	(注9)
教育研究経費	13,667	12,898	△769	
診療経費	21,003	20,022	△981	
施設整備費	322	335	13	(注10)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	68	463	395	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金 事業費等	1,768	1,861	93	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	584	574	△10	(注13)
大学改革支援・学位授与機構施設 費納付金	9	—	△9	(注14)
出資金	—	—	—	
計	37,421	36,153	△1,268	
収入－支出	—	2,438	2,438	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたが、業務達成基準を適用した事業の繰越により、予算額に比して決算額が769百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金が交付されたため、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、診療単価及び手術症例数の増加等により、予算額に比して決算額が2,062百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、売却予定の土地が売却できなかったため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、学校財産利用料収入の増収により、予算額に比して決算額が89百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として産学連携等研究収入の獲得が伸び悩んだことから、予算額に比して決算額が66百万円少額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算額に比して決算額が19百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、業務実施にあたり経費節減に努めたこと等の理由により、予算額に比して決算額が1,750百万円少額となっています。
- (注10) 施設整備費については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が13百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が395百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことにより、予算額に比して決算額が93百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は873百万円となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、借入利率の変更に伴い、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注14) 大学改革支援・学位授与機構施設費納付金については、(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が9百万円少額となっています。